

## 学校教育目標

### 創 【未来を拓く】

～輝く瞳、笑顔とあいさつ、光る汗～  
めざす生徒像

#### 「考え、行動し、夢をもって成長する」生徒

- (1) 学び合い、高め合う生徒⇒輝く瞳・・・(知)
- (2) 認め合う、心豊かな生徒⇒笑顔とあいさつ・・・(徳)
- (3) 心身共に健康な、たくましい生徒⇒光る汗・・・(体)

## 校訓 自分らしさを光らせて

### めざす学校像

- (1) 学力向上に努める学校
- (2) あいさつと歌声が響く学校
- (3) 安全で安心してすごせる学校
- (4) 地域とともに歩み、信頼される学校



## 受検(受験)は団体戦

冬を越すために南に向かう雁(がん)が、V字型の群れを組んで飛んでいくのはなぜか？



何と、V字の群れで飛ぶと、一羽で飛ぶよりも7割も遠くまで飛べるのだそうです。前の雁が羽ばたくと、後ろの雁のために、上昇気流を作り出すことができるので、後ろの雁は楽に飛ぶことができます。後ろの雁は、ガーガー鳴いて前の雁を励まします。先頭の雁は疲れると最後尾に回って別の雁と交代します。

V字型の群れから脱落しそうになっても、一羽で飛ぶと抵抗が大きいのので、すぐに元の群れに戻ってきます。群れの1羽が病気や怪我で脱落すると、2羽の雁が助けるために付き添って、地上に降りていきます。この2羽は、脱落した雁が回復するか死んでしまうまで一緒にいて、その後の新しい群れに加わるか、独自の群れを作って元のグループに追いついていくのです。

凄いいと思いませんか。仲間同士、助け合って飛ぶことによって大きな力を作り出し、1羽では考えられないくらいの遠くまで飛んでいくことができるのです。

私たち人間も、同じ志をもち、同じ目標に向かって一緒に進む人がいると、信じられないくらいのパワーを発揮できるのです。

1+1=2ではなく、5にも10にもなるのです。

「あなたの人生が変わる奇跡の授業(三笠書房)から抜粋

2月も中旬となり、あと1か月で年度末を迎えます。3年生にとっては、公立受検まで1週間を切りました。体調を整えて、試験当日を迎えるようにしましょう。

昔からもよく「受検(受験)は個人戦ではなく団体戦である」と言われます。ある資料によると、「いじめ」や「仲間はずれ」があって、まとまりのないクラスより、生徒の仲が良く「みんなで頑張ろう!」という雰囲気のあるクラスの方が、合格者が出る確率がとても高いということです。確かに勉強するのは個人かもしれませんが、しかし、昔から受検(受験)には、学級の雰囲気がとても大切であると言われ続けています。

つまり、いくら個人でしっかりと学習をしようと思っても、学級全体が学習に後ろ向きであったり、私語などで集中できない場合には、学習成果は上がらないということは、説明するまでもありません。自分だけの進路が決まればそれで終わりではなく、学級・学年最後の一人が目標を達成するまで、みんなで助け合っていくことが重要であり、本校の3年生は実践してきたはずです。

ぜひ、本番実力を発揮してきてください。

1年生、2年生は間もなく本校の中堅学年と最上学年となります。

雁(がん)のように、時には先頭に立ってみんなを引っ張ったり、リーダーが疲れたときには力を貸してあげたり、あるいは「頑張れ!頑張れ!」と応援したり、悲しんだり苦しんだりしている人がいたら寄り添ってあげたりしながら、みんなで力を合わせて、今よりもさらに素晴らしい本校を創るために頑張りたいと思います。

